

名古屋マツクバザー

「ご支援とご協力に感謝」

名古屋マツク後援会

平川 政美

十月九日（日）カトリック城北橋教会で行なわれた名古屋マツクバザーについては、ご支援ご協力誠に有難うございました。お蔭様で天気にも恵まれ盛大に開催する事が出来たことは、ひとえに皆様のご後援の賜物と心からお礼申し上げます。

また城北橋教会の主任神父様を始め信徒の皆様、そして色々と献品してくださった方々、それぞれの場でご協力いただいた皆様、ご来場頂きました方々等のご厚意により昨年同様の大きな実りを得ることが出来ましたことを重ねて感謝申し上げます。

名古屋マツクも今年で20周年を迎えました。これからも皆様のご支援にお応え出来るように名古屋マツクのメンバー共々努力を続けて参りますので今後ともよろしく願います。

なお、今回の名古屋マツクバザ



の純利益は八十九万六千九百十九円でした。本当にありがとうございます。

聖体賛美式

教会の教区年間テーマ「信仰を養うエウカリスチア（聖体）」への取り組みとして、教皇ヨハネ・パウロ二世教皇が宣言した「聖体の年」最後の日曜日となった、十月二三日（日）、信仰体験の分かち合いと、聖体賛美式が行われました。

信仰についての分かち合いについては、はじめに、牧野神父様、上村神父様をはじめ、シスター高良、後藤明憲さん、片岡法代さんが代表して、自らの信仰体験を話していただき、そのあと、七、八人のグループに分かれて、分かち合いが行われました。

分かち合いの後には、聖堂にて上村神父様司式で、聖体賛美式が行われました。

また、当日は、師イエズス修道女会のシスター方による聖体の年に関連したパネル展や、修道会オリジナルのマリア様をはじめとした陶芸や信心用具等の販売も行われました。

